

ヴィオラブーケ&ニューイヤーコンサート

国内外のヴィオラ奏者が来樽・弦の音色にうっとり♪



▲『ニューイヤーコンサート』最終日のステージ

世界的ヴィオラ奏者、今井信子さんを講師に迎え、国内外の音大生やプロ奏者から選ばれた受講生が、朝里クラッセホテルやブチホテルろーまんで10日間の集中レッスンを受けた『第8回ゆらぎの里のヴィオラマスタークラス』。

1月4日(水)から始まったレッスンの合間を縫って、精力的にコンサートをこなし、練習の成果を市民に披露してくれました。

1月6日(金)は小樽市議事堂でのコンサート。FMおたるの



▲『冬の旅』の演奏会風景=写真右から今井信子さん、草冬香さん、村岡圭介さん

世紀ぶりにコンサートを開催。意義深いものがあります」とご挨拶。

受講生だけで『ルクレール二重奏』。今井先生と受講生で『ヴィオラのアンサンブル』『美しき青きドナウ』は弦の美しい動きと旋律にうっとりします。「生のクラシックの演奏を聞いてクラシックファンになってくれれば」と司会者。重厚な歴史のある建物で演奏、約250人の市民に感動を呼び起こしたのは。

同日夜は朝里クラッセホテルでシューベルト「冬の旅」の演奏会。今回は全曲、約2時間の演奏、今井先生とピアノが草冬香さん、朗読がFMおたるの村岡啓介さん。今

石橋八千代さんによる司会で中松義治市長が「議事堂は昭和8年に建てられ、昭和38年に市民会館が建つまでは、いろいろ舞台が使用されていましたが、今回半

井先生は「父が『冬の旅』が好きで、レコードを持っていたので、まさか自分が弾くとは思っていなかった。2月に大阪公

演で弾くので、その前に演奏してみたかった」とコメント。約100人の聴衆を前に朗読の調べにのって魂のこもった演奏が続きました。

最終日、1月14日(土)は小樽市民センター・マリンホールで昼間は受講生の発表会「ヴィオラブーケ・コンサート」に約200人の聴衆を前に小品を11曲、練習の成果を存分に発揮。

夜は今井信子さんと受講生11人による「ニューイヤー・コンサート」、約250人がシューマン:『おとぎの絵本第4曲』など5曲、美しい演奏に酔いしれました。鳴りやまない拍手にアンコールは『浜辺の歌』を。

新年からヴィオラ演奏会に通い、心が豊かになった方も多いのでは。又来年世界に羽ばたく音楽家の来樽が楽しみです。(金子富子)



▲1月14日(土)会場の1階ロビーではアートクラフトの作品展